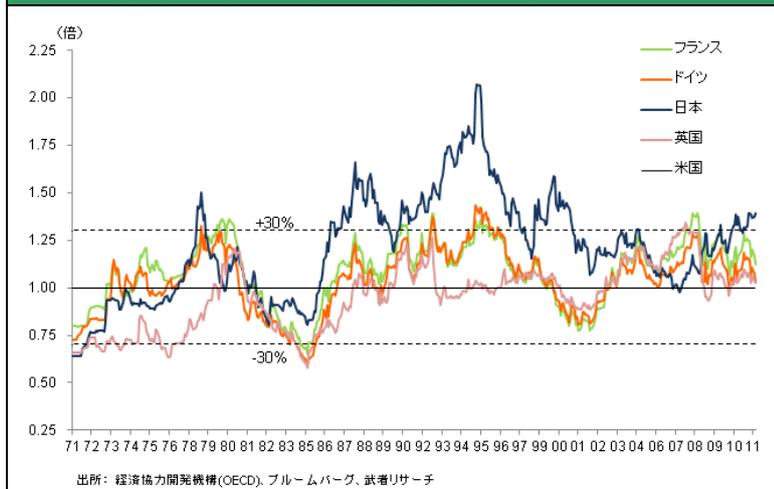


図表3：購買力平価から著しく乖離する日本円



(3) 決定的に重要な日銀の量的緩和政策

このままでは日本の産業は他国に漁夫の利を奪われる。ここは通貨主権を主張すべき場面である。為替介入は為替操作国の仲間入りとなり非難を浴びる。徹底的な日銀の金融緩和、バランスシートの膨張によるベースマネーの増大が望まれる。世界の中央銀行は金利操作から量的金融緩和へと政策の軸を移してきた。日銀がそのトレンドの先頭を走るべきである。巨額のETF、REITの買い入れによりベースマネーを増加させればよい。量的緩和によるリフレ政策は需要不足に悩む世界各国にとっても歓迎すべき政策である。円高デフレ終焉とともに資産価格の上昇が内需に大きな購買力を与える。日本経済の風景は激変するだろう。

図表4：主要国中央銀行総資産推移



図表5：日本の株+土地時価推移

